

2023年8月22日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

「MUFG 工芸プロジェクト」の発足について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤^{かめざわ} 宏規^{ひろのり}、以下 MUFG）は、パーパス「世界が進むチカラになる。」の実現に向けて、社会、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題に徹底的に向き合い、その解決に取り組んでいます。この度、そのパーパス実現の一環として、日本の伝統的な工芸の文化や技術の継承に寄り添い、そこから変化の時代に必要なイノベーションを学び発信することを目的に、「MUFG 工芸プロジェクト」¹⁾を発足いたしました。

2023年8月より実施する「伝統と革新」をテーマとした自社施設における工芸作品展示を皮切りに、今後、伝統文化・産業の発展と作り手・使い手双方を応援するイベントやセミナーの開催など、さまざまな試みを行ってまいります。

MUFG 工芸 プロジェクト

1. 施策背景

MUFG が、社会貢献活動として積極的に取り組んでいく優先領域の1つに「文化の保全と伝承」があります。日本を起点に世界で活動する総合金融グループである MUFG は、日本が大切に育んできた文化の豊かさを、未来の世代や社会、地球のために受け継いでいきたいと考えています。

工芸は日本のものづくりの原点であり、持続可能な未来に向けたヒントの詰まった大切なものです。その継承と発展を支援するため、本プロジェクトでは「伝統と革新」をテーマとして掲げていきます。

本プロジェクトでは、作り手の方々が伝統を守りながら革新・挑戦するための機会の創出や、作り手の方と使い手の方の出会いの場の創出などをサポートしながら、そこで生まれる新しい価値や魅力を多くの人に伝えていきます。なお、本プロジェクトの総合監修には、東京藝術大学名誉教授の秋元雄史氏にご就任いただいております。

<秋元先生からのメッセージ>

日本人はものづくりの民であり、工芸はその中心に位置する思想です。日本人は長い歴史の中で、自然素材から最先端のテクノロジーまで、素材と扱いを通して様々な革新的なアイデアや技術を生み出してきました。「MUFG 工芸プロジェクト」は、日本が育んできた「ものづくり」の思想を継承・発展させ、未来へ繋げる活動です。サステナブルでエコロジカルな特質や、グローバルと同時にローカルな特色を持つ工芸の魅力が、今を生きる私たちを刺激し、時代の挑戦と革新のヒントとなる。そのような思いを持って活動を行っていくものです。

2. 具体的な活動（予定）

本年度は、以下を軸に活動を予定しております。今後も、次世代工芸家の育成や、子供から大人まで幅広い使い手に向けた啓蒙活動・ワークショップなど順次企画していきます。

①全国の MUFG 関連施設にて工芸作品を巡回展示

当代の新進気鋭の工芸作家による作品を、8月22日（火）から始まる MUFG 丸の内本館ロビーでの展示を皮切りに、全国の MUFG 関連施設にて、巡回展示いたします。その他、海外での展示も順次検討していきます。

②国内3つの工芸展の支援

本年開催される、GO FOR KOGEI^[2]／Art Collaboration Kyoto^[3]／KOGEI Art Fair Kanazawa 2023^[4]の、3つの工芸展に協賛、支援を行います（各展の詳細はそれぞれのホームページをご参照ください）。

③工芸文化の技術の保全や伝承などを行う団体や組織との連携・協働

日本の優れた伝統工芸の保護や育成、無形文化財（工芸技術）の保存・伝承及び公開に関する事業の推進を行うさまざまな団体や組織との連携・協働を予定しております。

[1] 「MUFG 工芸プロジェクト」の詳細は、下記リンクをご参照ください。

https://www.mufg.jp/csr/social/contribution/priorityareas/preservation_and_succession_of_cultures/culture/index.html

[2] GO FOR KOGEIの詳細は、下記リンクをご参照ください。

<https://goforkogei.com/>

[3] Art Collaboration Kyotoの詳細は、下記リンクをご参照ください。

<https://a-c-k.jp/>

[4] KOGEI Art Fair Kanazawa2023の詳細は、下記リンクをご参照ください。

<https://kogei-artfair.jp/>

以上